

ティーネのいいね！ドイツ

沼田市国際交流員が教えるドイツ

魔女の夜

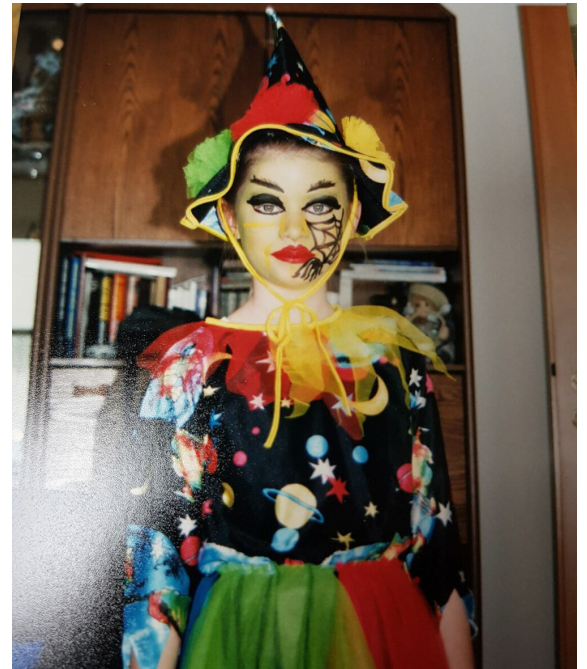


ドイツのハルツ山地の最高峰ブロックスベルクです

ブロックスベルクは風が強く、一年のうち300日は霧がでる不思議な自然現象が見られる山です。そして、幽霊や魔女を見たという色々な恐ろしい伝説があります。遭難した猟師の魂の声が聞こえた話や悪魔が切り崩した不思議な形の岩の周りに、魔女の姿が現れた話が多いです。ブロックスベルクにはよく魔女が現れると言われていますが、一番恐ろしいのは4月30日の日没から5月1日の朝にかけてのヴァルプルギスナハト（Walpurgisnacht）という夜です。ゲーテのファウストにも登場しますが、魔女が騒ぐために集まってくる夜のことです。そのため、ドイツ人はブロックスベルクと聞くと、山頂で激しく燃え上がる火の周りで踊り狂う恐ろしい魔女を想像します。

「ヴァルプルギス（Walpurgis）」は、魔女から守ってくれる聖人の名前で、昔、人々は4月30日に魔女から守ってもらいたくてヴァルプルギスに祈りを捧げました。昔からヨーロッパでは4月30日に夏の始まりを祝ってきましたが、キリスト教の決まりではなくもっと古い習わしで、隠れて山に入ってキリスト以外の神様への儀式をして祝いました。今でもドイツ人は4月30日の夜を祝いますが、ヴァルプルギスに祈るわけではなく、神様のお祝いのためでもありません。本当は魔女が存在しないことを分かっているけれど、神秘的な魔女への憧れから魔女の格好をした数万人の人々がブロックスベルクに集まり、大きな火を囲んで歌ったり踊ったりします。魔女に怯えていた「ヴァルプルギスの夜」は、魔女になりきって盛り上がる「魔女の夜」へと変化したのです。

ティーネが幼いころ、魔法は子供たちに大人気でした。ドイツでは誰もが知っている有名な朗読カセットがあり、その主人公は魔女ビビ・ブロックスベルグ（Bibi Blocksberg）と呼ばれる少女です。2002年には実写化され、「リトルウィッチ〜ビビと魔法のクリスタル」というタイトルで日本でも購入できます。彼女の名字は北ドイツにあるブロックスベルクという有名な山からつけられました。



魔女の仮装をしているティーネ

Hex hex !
(魔女に栄光を)



作者：クリスティーネ・バウアー（ティーネ）
問い合わせ：c.bauer@city.numata.gunma.jp
👩🍳 クックパッド：沼田市のキッチン